



あかるく元気な子 だれにも親切な子 しっかり考える子 ことばを大切にする子

防災体験

6月28日(木)、授業参観の後、保護者の方や地域の方にも来ていただき「防災体験」を実施しました。災害が起こり、避難所生活になったときに役立つ体験をしました。① 避難所での生活を過ごしやすくするための段ボール用品の組み立て体験 ② 身近なもので担架づくり体験 ③ 避難所生活を支える防災倉庫の見学 の3つのブースを作りました。

3グループに分かれ、6年生が中心になって各ブースをまわりました。地域の方や保護者の方も一緒にグループに入ってもらって体験していただきました。今回の体験が、ご家庭や地域で防災のことを考えるきっかけになればと思います。参加いただきました皆様、ありがとうございました。



【段ボール防災用品の組み立て】



【簡易担架づくり】



【防災倉庫の見学】

授業参観

防災体験の前に行った授業参観は、1年～3年は防災についての授業で、4～6年は運動会のプロジェクトの発表でした。いつもとは少し違った参観だったのではないのでしょうか。

4～6年は、学年の枠を超えたグループでそれぞれ『運動会』について話し合い、グループごとにまとめた案を発表するという普段なかなかできないプロジェクト型の学習の一部を見ていただきました。

この学習で、コミュニケーションの力、情報収集の力、調べたことをまとめる力、発信する力などさまざまな力をつけることができます。総合的な学習の時間では、このような学習方法をよく使います。

将来、社会に出たときに必要になる力を子どもたちに付けていきたいと考えています。



七夕かざり

毎年、阿太小では7月に入ると七夕かざりを全学年でかざります。今年も地域の方に笹をいただき、立派な七夕かざりを作ることができました。

子どもたちの短冊には、いろいろな願いごとが書かれていました。『〇〇になりたい』という将来になりたい職業や夢について書いてある短冊が多いようでした。『〇〇がほしい』という身近なかわいらしい願いがあったり、『こんな学校になってほしい』というさすが高学年と思われる願いがあったり、家族の幸せを願う家族思いのやさしさがあふれている短冊があったりと、一人一人の個性が表れている短冊でした。

立派な七夕かざりのおかげで七夕の雰囲気を楽しむことができました。

